

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年4月16日 (2015.4.16)

【公表番号】特表2013-517867(P2013-517867A)
 【公表日】平成25年5月20日 (2013.5.20)
 【年通号数】公開・登録公報2013-025
 【出願番号】特願2012-550430(P2012-550430)
 【国際特許分類】

A 6 1 L 2/22 (2006.01)

C 0 2 F 1/46 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 2/22

C 0 2 F 1/46 Z

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成27年2月23日 (2015.2.23)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

剛体を備える手の消毒のための装置であって、

剛体は、

手を挿入するための凹部と、

予め決められた時間の間、水性電解質媒体の電気分解によって酸化剤溶液を生成するように構成された、タイマーを有する電気化学セルと、

手を挿入するための凹部内にある酸化剤溶液を噴霧するためのデバイスと、

凹部内の手の挿入を検知するのに適当な少なくとも一つのプローブと、

(i) 電気化学セル内の水性電解質媒体の予め決められた量をアップロードするステップ、(i i) 前記 (i) のステップの次に行われる、約 2 0 乃至約 3 0 0 p p m の活性塩素を含む酸化剤溶液の濃度が維持されるまで電気化学セル内の電気分解を時限実行するステップ、及び、(i i i) 前記 (i i) のステップの次に行われる、酸化剤溶液を噴霧するステップ、の作動時に作動するように構成された電気制御盤と、
 を有し、

プローブ及び噴霧するためのデバイスは、プローブの検知に基づいた酸化剤溶液の噴霧を命令するのに適当な電気制御盤に接続され、

電気制御盤の作動は、前記プローブによる検知に基づいている、あるいは、前記プローブの検知とは関係なく予め決められた回数に対するアクチュエータの連続的な起動に基づいている、装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の装置において、

前記予め決められた量は、1 乃至 2 0 m l である、装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の装置において、

前記予め決められた時間は、1 乃至 5 秒である、装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のうちのいずれか一つに記載の装置において、

手の挿入を検知するのに適当な少なくとも一つのプローブは、フォトセルである、装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のうちのいずれか一つに記載の装置において、

水性電解質媒体は、ディスペンサーボトルから電気化学セルに供給されたアルカリ塩化物の塩水である、装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のうちのいずれか一つに記載の装置において、

水性電解質媒体は、使い捨てのカートリッジから電気化学セルに供給されたアルカリ塩化物の塩水である、装置。

【請求項 7】

グリッド、充電式電池または太陽電池パネルからの電力供給を備えた、請求項 1 乃至 6 のうちのいずれか一つに記載の装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0002

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0002】

手を洗うのに適した溶液又はジェルの解放のためのデバイスは、家庭環境に加えて、いくつかの公共の場所で存在し、大衆又は通行が多い公共の場所（空港や鉄道駅、高速道路のサービスステーション、劇場、映画館、スポーツイベント用会場）で改善された保護を得るために、例えば、殺菌特性を有する消毒物質を含む製品で一般の液体ソープディスペンサーを満たすことが増進的な一般の実施である。代替的に、消毒用液は、続いて放出される必要がある消費物を含む不便さを有する使い捨ての浸したティッシュで提供される。便利ではあるが、一般の使用のジェル及び溶液は、幅広いスペクトルの保護を提供せず、当該分野で公知の幅広いスペクトルの殺菌剤は、実際には、過度のコストによって、または不十分あるいはほとんどない再生性の貯蔵寿命によって特徴付けられる。多くの場合、通常の抗菌製品が提供する保護は、受け入れ可能と考えられるが、広いスペクトルの保護が公衆衛生を維持するために非常に望まれる他の環境がある。例えば、これは、高価な特定の製品が一般的に使用されている病院や診療所の場合や食品が処理される場所（例えば、公共のレストラン、肉屋、パン屋、菓子店の台所）あるいは分配される場所（例えば、食堂やレストラン）である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

一実施形態では、デバイスのアクチュエータは、電解質の水性媒体、例えば、ナトリウム又はカリウムの塩化物などのアルカリ金属塩化物の塩水の予め決められた量を電気化学セルにアップロードすることを許容し、それを電気分解にさらし、一実施形態では、電解液の予め決められた量は、1乃至20mlで構成される。一実施形態では、電解質媒体の電気分解は、例えば、任意的な微量なオゾン又は過氧化物を有する20乃至300ppmの活性塩素である酸化種の適切な濃度が達成されるまで1乃至5秒の間実施される。一実施形態では、アクチュエータの動作及び電気分解の完了後の凹部への手の挿入は、適当なプローブによって検知され、プローブは、一実施形態では、フォトセルからなり、手の挿入が検知されたときに、電気制御盤は、プローブの信号を受け取り、例えば、それを通じて電解的に生成された酸化剤溶液が手に噴霧される噴霧器からなる噴霧手段の動作を命令する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0007

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0007】

一実施形態では、本発明は、消毒特性を有する酸化剤溶液を生成及び噴霧するのに適当なデバイスで構成され、手を挿入するための凹部と、予め決められた時間の間、水性電解質媒体の電気分解によって酸化剤溶液を生成するのに適当な、タイマーを有する電気化学セルと、手を挿入するための凹部内にある酸化剤溶液を噴霧するための手段と、凹部内の手の挿入を検知するのに適当な少なくとも一つのプローブと、電気分解の時間実行を命令するのに適当なアクチュエータとを有する剛体を備え、電気化学セル、プローブ及び噴霧するための手段は、電気化学セル内の水性電解質媒体の予め決められた量のアップロード、続いて行われる電気化学セル内の電気分解の時限実行、及び、任意的にフォトセルからなるプローブの検知に基づいた生成物の酸化剤溶液の続いて行われる噴霧の命令をするのに適当な電気制御盤に接続される。この場合では、デバイスは、前記機能が手の挿入を検知するのに適当なプローブによって実行されるので、更にアクチュエータを備える必要がない。また、この場合では、電解液の予め決められた量は、1乃至20mlで構成され、電解質媒体の電気分解は、例えば、任意的な微量なオゾン又は過酸化物を有する20乃至300ppmの活性塩素である酸化種の適切な濃度が達成されるまで1乃至5秒の間実施される。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0011

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0011】

図1に示す実施形態では、手の消毒用デバイスは、適当な寸法の手挿入部2のための凹部が提供された剛体1を備え、剛体の内部では、アクチュエータ6、例えば、中央プロセスユニットに任意的に接続されたスタートボタンは、予め決められた電流密度での電気化学セル4に対する予め決められた電解液、例えば、ディスペンサーボトル7に含まれた塩溶液の量のアップロードを命令すると共に、続いて起こる電気化学セル4内の電気分解プロセスの時限実行を命令する。凹部2の内部では、適当なプローブ、例えば、フォトセル3が、手の挿入を検知して、信号を電気制御盤8に送信し、電気制御盤8は、例えば、電気化学セル4の出口と連通すると共に、適当な濃度で高い抗菌活性を有する種を含む酸化溶液からなる時限電気分解の製品が供給される、噴霧器5からなる噴霧手段を作動する。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

本発明によって得られた最も重要な結果のいくつかは、本発明の範囲を制限するものではない以下の例で説明される。

例

図1で示されたものと同様のデバイスは、0.15mmの距離で対面配置されると共に21cm²の全表面によって特徴づけられた、チタン、パラジウム、ルテニウム及びイリジウムの酸化物の混合物で被覆されたチタンアノードを備えた分割されない電解槽を装備された。電解槽は、剛体の上に配置されると共に中央プロセスユニットによって命令されるキャリブレートロードデバイス的手段によってそれに接続されたディスペンサーボトルに

収容された 4 g / l の塩化ナトリウムを含む溶液が供給される。また、電解槽は、剛体の上面に係合されたリリースバルブに接続された、ガス副産物のための出口が提供される。プロセス中央ユニットは、アノードとカソードとしての仏の電極の一方を交互に操作するように設定され、アクチュエータとして提供されたスタートボタンのあらゆる次の動作で極性を反転する。装置は、6 ml の電解液の負荷量を設定することにより実行され、電気分解プロセスの時間と電流密度を変更する。2000 A / m² の電流密度での 2 秒の電解時間は、微量な過酸化剤と共に、主に次亜塩素酸イオンとしての 300 ppm の活性塩素を含む酸化剤溶液を生成するのに十分に証明された。この場合、噴霧器を命令する電気制御盤は、フォトセルによって装置への手の挿入が検知されなかった場合でも、スタートボタンを押した後 5 秒間生成物溶液を排出するように設定された。中央処理ユニットで設定された電解時間及び電流密度を低減することにより、活性塩素の比例的に低い濃度が得られ、噴霧器を制御する電気制御盤は多数のアイドルサイクルの後（例えば、100 ppm の活性塩素の濃度のためにアクチュエータの 3 つの連続動作後）、生成酸化剤溶液を排出するように設定されることができる。